

和光市教育大綱(令和 8 年度～令和 11 年度)(案)

新旧対照表

■基本方針1

学びの基礎となる確かな学力の習得と、社会性を育む義務教育の推進

	新	旧
背景	◆ 道徳科の学びを通じて、人権や多様性を尊重し、共に生きる力を育むことが必要になっている。 ◆ 近年急激に増加する不登校児童生徒に対して、切れ目のない学習支援や社会的自立に向けた取組みの必要性が高まっている。	◆ 道徳の教科化に伴い、道徳教育の充実が必要である。 ◆ (新規)
内容	◇ 不登校児童生徒を含め、すべての子どもが安心して学び、成長できるよう、多様な学びの場や安心できる居場所を保障し、学びの継続と社会性の獲得を支援する。	◇ (新規)

■基本方針4

デジタル技術の進化に即した情報教育の推進

	新	旧
背景	◆ Society5.0 の進展や GIGA スクール構想の実現により、児童生徒一人につき、1台学習端末の環境を整備した。 ◆ AI をはじめとする先端技術が急速に発展しており、教育における効率的な活用の検討が必要となっている。一方で情報モラルやデジタルデバイスへの対応も不可欠となっている。	◆ Society5.0 に向けて、デジタル技術の革新に対応した教育の充実が求められている。GIGA スクール構想に伴い、児童生徒一人1台学習端末の整備と併せて、学校のデジタル環境の整備を行った。 ◆ (新規)
内容	◇ AI をはじめとする先端技術を効果的に取り入れ、個別最適な学びや協働的な学びを推進する。 ◇ 情報活用能力や情報モラルを育み、急速に変化するデジタル社会を主体的に生き抜く力を養う。	◇ 新たなICT環境や先端技術を効果的に活用することにより、個別最適な学びや協働的な学びを推進する ◇ (新規)